

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-25℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-25℃ ~ +85℃		
	電 圧	AC 100 V , DC 140 V				
	電 流	2 A	適合ケーブル	φ3.5 ~ φ4.3		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外観、構造及び仕 上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○	
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	_____ の綱製ピンで測定する。	挿抜力 _____ N 以上	-	-	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 30 N 以下 (ロック機構を含む)	○	-	
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 30 mΩ以下	○	-	
	耐振性	周波数 10 ~ 55 ~ 10 Hz/サイクル, 振幅 0.75mm, 5分/サイクルで 3軸方向 各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	-	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波3軸両方各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	-	
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、 ケーブルを上下左右方向に力を加える。	30N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	-	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間 放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高湿 時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥 時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	-	
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 10~15 → 30 → 10 ~ 15 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	-	
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	-	
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-	
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃で 3 ⁺ / ₀ 秒間ソルダート部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しい ガタがないこと。	○	-	
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 2~3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	-	
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水圧1 mlに 0.5 時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	-	
耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部 にエア-圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	-		
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
0						
備 考				承認	MO. SATOH	06.06.12
				検 図	EJ. KUNII	06.06.12
				担 当	DS. MATSUNE	06.06.12
				製 図	MK. SATO	06.06.08
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。						
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-112570-71		
HRS	製品規格表		製品名	HR30-6JA-6P (71)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL130-2018-7-71	△ 1/1	